【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第１区分
【発行日】令和5年6月20日(2023.6.20)

【国際公開番号】WO2023/286676
【出願番号】特願2022-570581(P2022-570581)
【国際特許分類】
*Ｃ０１Ｇ　3/02(2006.01)*
*Ａ０１Ｎ 59/20(2006.01)*
*Ａ０１Ｐ　1/00(2006.01)*
*Ａ０１Ｐ　3/00(2006.01)*
【ＦＩ】
Ｃ０１Ｇ　3/02
Ａ０１Ｎ 59/20　　Ｚ
Ａ０１Ｐ　1/00
Ａ０１Ｐ　3/00

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月6日(2022.12.6)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
亜酸化銅を含む銅酸化物粒子であって、
レーザー回折散乱式粒度分布測定法による累積体積５０容量％における体積累積粒径Ｄ５０（μｍ）に対するＢＥＴ比表面積Ｓ１（$m^2$／ｇ）の比（Ｓ１／Ｄ５０）が２．０以上であり、
前記粒子の断面を対象とした走査型電子顕微鏡によるエネルギー分散型Ｘ線分光法を用いた元素分析において、酸素元素含有量Ａ１（原子％）に対する銅元素含有量Ａ２（原子％）の比（Ａ２／Ａ１）が１．２以上２．０未満である部位を前記粒子の表面域に有し、前記粒子の表面から中心に向かってみたときに、前記Ａ２／Ａ１比が前記表面域における前記Ａ２／Ａ１比よりも小さい部位を有する、抗菌材料又は抗ウイルス材料として用いられる、銅酸化物粒子。
【請求項２】
前記Ｓ１（$m^2$／ｇ）に対する前記粒子中の炭素元素の含有質量割合Ｗ１（質量％）の比（Ｗ１／Ｓ１）が０．３以下である、請求項１に記載の銅酸化物粒子。
【請求項３】
前記Ｄ５０が０．１μｍ以上５．０μｍ以下である、請求項１に記載の銅酸化物粒子。
【請求項４】
前記ＢＥＴ比表面積Ｓ１が３$m^2$／ｇ以上２０$m^2$／ｇ以下である、請求項１に記載の銅酸化物粒子。
【請求項５】
前記粒子中の炭素元素の含有質量割合Ｗ１が０．５０質量％以下である、請求項１に記載の銅酸化物粒子。
【請求項６】
請求項１～５のいずれか一項に記載の銅酸化物粒子の集合体からなる粉体を含有する抗菌組成物又は抗ウイルス組成物。